

シラバス

指定番号 120

商号又は名称：社会福祉法人大阪キリスト教女子青年福祉会

科目番号・科目名	(5) 介護におけるコミュニケーション技術			
指導目標	高齢者や障がい者のコミュニケーション能力は一人ひとり異なることと、その違いを認識してコミュニケーションを図ることが専門職に求められていることを認識し、初任者として最低限の取るべき（取るべきでない）行動例を理解できるように指導する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護におけるコミュニケーション	3	1.5	1.5	<p>〈講義内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割相手のコミュニケーション能力に対する理解や配慮、傾聴、共感の応答について理解する。 ・コミュニケーション技法、道具を用いた言語的コミュニケーション…言語的コミュニケーションの特徴、非言語的コミュニケーションについて理解する。 ・利用者・家族とのコミュニケーションの実際…利用者の思いを把握する、意欲低下の要因を考える、利用者の感情に共感する、家族の心理的理解、家族へのいたわりと励まし、信頼関係の形成、自分の価値観で家族の意向を判断し非難することがないようにする、アセスメントの手法とニーズとデマンドの違いについて理解する。 ・利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション技術の実際…視力、聴力の障害に応じたコミュニケーション技術、認知症に応じたコミュニケーション技術を理解する。 <p>〈演習〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例をとおして、言語的コミュニケーション・非言語的コミュニケーションを活用させた、利用者や家族の状況・状態に応じたコミュニケーションのあり方を学ぶ。 <p>〈通信学習課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション技法。言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーション。
② 介護におけるチームのコミュニケーション	3	1.5	1.5	<p>〈講義内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記録における情報の共有化…介護における記録の意義・目的・利用者の状態を踏まえた観察と記録、介護に関する記録の種類、個別援助計画書（訪問・通所・入所、福祉用具貸与等）ヒヤリハット報告書、5W1Hについて理解する。 ・報告…報告の留意点、連絡の留意点、相談の留意点について理解する。 ・コミュニケーションを促す環境…会議、情報共有の場、役割の認識の場（利用者と頻回に接触する介護者に求められる観察眼）、ケアカンファレンスの重要性を理解する。 <p>〈通信学習課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記録の目的。経過記録の留意点。記録のポイント。報告・連絡・相談の留意点。会議の目的。
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
 ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
 ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
 ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
 ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。